

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2012～2013年度 国際ロータリー 田中作次 会長テーマ

Peace Through Service 奉仕を通じて 平和を

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 嶋津孝久
幹事 野村紀代彦
会報委員長 横山宜幸

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2803回例会プログラム

[当年度=37回目；当月=3週目]

2013年（平成25年）5月20日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……それこそロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(5/27) ……

※職業表彰（職業奉仕委員会）

新入会員アワー 石川 覚雄 会員

(6/4) ……

クラブフォーラム（環境保全委員会）

「ハイケホテルを鑑賞しよう」

19:00～20:00

角文株式会社本社5階ホール

講師 日本自然保護協会

自然観察指導員 神谷 幸彦 様

(紹介者 鈴木文三郎 会員)

※6月3日(月)の例会変更分です。

13:00 13. 本日のプログラム

卓話 「衣浦港のオアシス化について」

講師 地区環境保全委員会

委員長 筒井 信之 様

(名古屋南 RC)

(紹介者 杉浦 文雄 会員)

14. 謝辞
15. 点鐘……〈会長〉
16. 閉会宣言

13:30 17. 散会

出席席

会員総数 96名 出席免除 28名
出席義務者+免除者の内例会出席者 90名
欠席 8名 出席率 91.11%
前々回(4/22)の修正出席率 100%

幹事報告

- 1) 5/17、18日に広島で行なわれたロータリー世界平和フォーラムに参加してきました。
2) 本日、例会終了後、第12回理事会を行いますのでご関係の方は事務局までお集まりください。

会長あいさつ

持っている人

嶋津 孝久



人生には運・不運はつきものです。かつては運の良い人を「幸運児」とか「持っている人」と言っていました。最近では「持っている人」と言うようで、高校野球の早稲田実業のハンカチ王子、斉藤祐樹君が言ったと記憶しております。

私たちの刈谷 RC にも「持っている人」がたくさんいるのではないのでしょうか。これを言い出したのはうちの女房で、ホールインワンのお話をしていたときに「刈谷 RC のメンバーは運の強い人が多いんじゃない?」と言ったのです。言われてみると、2008年に嶋津が2回目のホールインワンをしたあと、堀会員・大竹会員・盛田会員・坂会員・塚本会員と年1回のペースで達成されています。また、盛田会員の6回を筆頭に、加藤恒治会員の

5回、深谷稔彦・橋本会員の3回と続いて、2回・1回の方は多数です。

ホールインワンの確率については諸説ありますが、最も高い数字でも2,000ラウンドに1回です。これは年間25回ゴルフをする人が、80年かかると言う事で、ほとんどのゴルファーは夢で終わるのが現実です。

こう考えると、ゴルフを全く知らない女房でも異常な数だと思うのも、無理はありません。

刈谷 RC は「持っている人」の集団であると言う所以です。

もう1人、つい最近持っているなど実感したのは、ユニクロの柳井社長です。プロゴルファーのアダム・スコット選手とウェアの契約をしたら、すぐに「マスターズ」で優勝しました。この「マスターズ」と言うのは世界100ヶ国以上で放映され、最も有名な大会です。しかも、オーストラリアの選手として初めての優勝で大きな話題となりました。

オーストラリアの選手は2位が7回もあり（スコット自身も11年に2位）、オーストラリアの悲願でもあったのです。マスコミでは、この宣伝効果は50億円とも100億円とも言っております。

また、この時にスコットが着ていたのは市販の製品で、ポロシャツは1,990円、ズボンはドライノータックパンツで2,990円。これらは全てオンラインストアで買えるそうです。

卓 話

「衣浦港のオアシス化について」

地区環境保全委員会

委員長 筒井 信之 様



刈谷のオアシス かきつばた・亀城公園・境川・逢妻川

【衣が浦と校歌】衣が浦の現状のこの姿を未来の「新たな希望」へ衣替え

1、刈谷高校：一知多丘陵のゆるぎなく、三衣が浦に寄る波の集いやすけき

2、半田中学校：衣が浦の あさぼらけ いまぞ さす世紀の光

3、半田高校：朝明けの衣が浦に 眉あげて若人われら新しき潮をまたむ

【地域づくりの肝は観光】

1、これからの地域づくりに必要なのは新三K

観光→景観→環境→人とコミュニティー（市民・自治体・企業・NPO）

2、港湾の景観づくり

① 事例の紹介 港湾の景観形成ガイドライン（平成17年港湾局）

② 手法の紹介 景観・環境まちづくり協議会、企業の参画が必要

(2)

【一変した環境政策】

1、生物多様性(日本経済団体連合会が力を入れている) 愛知県のレポート

2、生態系ネットワーク

知多半島・西三河など、で始まっている

3、ESD 国際会議（持続可能な開発と環境教育）

愛知県が誘致成功2014

【衣浦港のオアシス化構想】

単なる景観だけに留まらず、今や環境だ！

1、三河と尾張の交流拠点 環境は日本中で考えられる。この地域の特徴

2、この地域は和の文化で この地の歴史文化は「和」と言う言葉で代表

【衣浦港の現況景観】

1、整備の良いところ（写真で紹介）景観、公園、ボードウォーク、ヨット

2、取り残された場所（写真で紹介）赤丸、計画の復活、浚渫土砂の利用

【新たな共創社会へ】

1、企業の参画（ステークホルダーへのサービス機能、CRS 環境奉仕）

2、市民の参画、NPOの参画（地域づくりの主体となって）

3、官側の任務（住民参加と行政参加の発想、公民連携事業の活性化）

4、共創社会へ（別世界の工業地域から、私たちが親しみを持てる地域へ）